

令和 7 年 2 月 25 日

ベトナム・バクリエウ活動報告書

氏名:加藤彰紘

所属:九州大学理学府地球惑星科学専攻

宇宙地球電磁気学研究室

出張期間:2025 年 2 月 10 日-2 月 15 日

出張先:ベトナム・バクリエウ

ベトナム・バクリエウ磁力計観測点にて、昨年発生した洪水により故障していた磁力計の回収と、新磁力計の設置を行った。他参加者は、阿部修司博士(九州大学 i-SPES)、川上航典(九州大学)、東根侑加(九州大学)。現地カウンターパートナーは、Vietnam Academy of Science and Technology のスタッフである Thanh Nguyen Ha さんと、バクリエウ観測所所長の Dhan Thanh Hai さん。

2 月 11 日

午前、水没故障した fluxgate 磁力計の回収。午後は、洪水対策として 1 メートルの高さを持たせた磁力計ハットの視察および新規設置を行った。なお、ケーブルの地中配線は土壌の状態から困難と判断し、パイプを用いた空中配線とした。



水没した磁力計アンプ

2 月 12 日

新センサーを仮設置し、テストデータを解析した結果、5 分周期のノイズが確認された。このノイズは、同観測所に設置されている FMCW レーダーの影響を受けている可能性がある。そのため、他の地点でも同様のノイズが発生しているか、追加調査を実施する。

2 月 13 日

観測所敷地内 6 地点に磁力計を仮設置しテスト観測を行った。レーダより西側では 5 分周期のノイズを確認、アンテナ直下にて最大振幅を観測。今回、最もレーダーの影響を受けにくい場所を選定し、最終設置場所とした。



新センサーハット・作業

2 月 14 日

最終的に決定した磁力計の設置場所におけるセンサーハットの建設は、我々の出張期間内に竣工の目処が立たなかったため、当初の予定を変更し、Thanh Nguyen Ha さんに新しい Fluxgate 磁力計の設置を依頼することとなった。これに伴い、磁力計の設置方法について情報共有を行った。

現地の研究者との交流や、国際地上多点ネットワーク観測網 (MAGDAS) に関する設置講習会を通じて、特にデータノイズに関する理解が深まり、研究の視野が広がった。得られた知見を自身の研究活動に活かしていく。



観測所風景